

未来を創造する子どもの育成とキャリア教育

多古町教育研究協議会キャリア教育研究部 部長 八木 達彦

キャリア教育の必要性が叫ばれて久しい。キャリア教育という言葉が初めて登場したのは、平成11年の中教審答申、そこから数えてはや20年近くキャリア教育は各学校で実施されている。多古町では、文部科学省の研究指定を受けてから10年にわたり、継続して組織的な取組が行われている。町の研究協議会では、キャリア教育部会を位置づけるとともに、キャリア教育推進協議会が組織され、多くの事業所の方から建設的な意見をいただくなど、町を挙げての実践がなされている。まさに「多古の子、町の子、みんなの子」のスローガンのもと、産[事業所]、学校[学校]、官[町行政]が一体となったキャリア教育が推進されている。

しかし、現状に満足するのではなく、時代の変化や子どもの現状を考えた新たな取組も求められている。その一つが、次年度から導入される「キャリア・パスポート」に見られる、小中高を通じて継続的にキャリアを積み重ねていく取組である。今後、地域との連携をさらに深めるとともに、小中高のますますの連携を推進していく必要があるのではないだろうか。

グローバルキャリア事業

＜久賀小学校＞

キャリア教育の一環として、空港関係の方のお話を聞き、職業に対する理解を深めました。

- 私が特に印象に残ったのは、ランプコントロールタワーです。あんなに高いところから指示を出していることを知らなかったのも、とてもよい勉強をさせていただきました。(H. J)
- 成田空港見学で驚いたことは、第2ターミナルの検査がすごく厳しいということです。理由は金属の反応が出たらすぐに確認していたからです。ベルト、スマホ、飲み物も禁止されているのでかなり厳しいのだとわかりました。(S. Y)
- 私が心に残ったことは、案内カウンターの人の話です。韓国語や英語、手話までできるのがすごかったです。(K. S)

花交流

＜常磐小学校＞

多古高校生産流通科の生徒さんに教えていただきながら、常磐小学校の3・4年生が花の種を植えました。

- 多古高校でまいたストックの種は、すごく小さくてびっくりしました。なかなかつかめなくて、多古高生のお兄さんが手伝ってくれました。土をかぶせて植えました。元気に育ってほしいです。(H. M)
- おいそがしい中、花交流の体けんをさせていただき、ありがとうございました。あんなに小さな種からストックの花がさくのが楽しみです。(I. M)
- ぼくは、花交流は初めての体けんによくわからなかったけれど、多古高校のお兄さん、お姉さんのおかげでストックの種をしっかりと植えることができました。(S. R)

キャリア教育活動報告

常磐小学校

- 私はBASH・平山書店で仕事体験をしました。普段できない貴重な体験をすることができ、楽しかったです。書店の仕事は力仕事が多く、想像したよりも大変でした。本好きな人には、もってこいの職場だと思います。「将来、書店員になりたい。」と改めて感じました。(U. R)



- 白石菓子舗での仕事体験は、緊張したけれど、とても優しく教えてくださったので、安心して活動することができました。まんじゅうや団子の作り方、商品の袋づめ、接客など、いろいろな仕事を体験させていただいて、楽しかったです。(S. A)



- かねまつ動物病院で仕事体験をしました。先生が、飼い主から動物の体調や具合を聞き取り、相談にのっていました。とても大変な仕事なのに、先生は終始笑顔で、やりがいのある仕事だと感じました。(H. E)



- ぼくは多古ピザで仕事体験をしました。ピザ作りでは、生地を量ってめん棒で伸ばしたり、具材の大きさや切り方を変えて用意したりする体験をしました。初めてピザを作って、ピザができるまでの流れを楽しく学ぶことができました。(E. R)



久賀小学校

- 多古タイヤサービスで仕事体験をしました。貴重な体験ができました。タイヤからホイールを外すのを初めてやりました。質問してみると外すための機械は450万円すると聞いてびっくりしました。こんな機械をいつも使っていると思うと本当に仕事が大変だとよくわかりました。(O. A)



- 町立図書館で仕事体験をしました。本がある場所の紹介や、本に貼ってあるシールの意味などを教えてもらい、本のいろいろなことがよくわかりました。本の貸し出し方を教えていただきわからないところも詳しく教えていただけてうれしかったです。(S. M)



- 多古中央病院で仕事体験をしました。利用者の方と接するのは、とても大変だなと思いました。でも、その中で見える利用者の方の笑顔などが私にとって、とても大きな喜びでした。今回の体験で改めて将来医療関係の仕事に就きたいと思いました。(Y. R)



- ダイナミックゴルフでは、受付のフロントにあった受付カードを渡したり、返したりしていることがわかって、防犯カメラには、打席で打っている人が見えました。貴重な体験ができて勉強になりました。(S. Y)



多古第一小学校

- 私はマヌーバーで仕事体験をしました。マネキンで服をコーディネートしたのはとても楽しかったです。色の置き方や接客の仕方は勉強になりました。将来、洋服関係の仕事をする時に役立てたいです。(K. M)



- 私は美容室プッチで仕事体験をしました。お客さんに飲み物を出したり、カットした髪の毛を掃除したりしました。マネキンを使ってヘアアレンジの練習も体験しました。教わりながらやったらできたのでうれしかったです。(H. A)



- 私はサンリバー小川屋で職場体験をしました。レジではバーコードスキャンや袋づめをしました。服をたたんだり種類別に分けたりする商品管理もしました。たくさんの仕事を体験してみて働くことの楽しさがわかりました。(O. S)



- ぼくは、さわた薬局で仕事体験をしました。接客の仕方や薬の包装などいろいろなことを教わりました。特に薬品の種類の多さには驚きました。忙しい中でも、ていねいに接客や調合、包装をしている薬局の方はすごいと思いました。(K. S)



中村小学校

○ 泉ベーカリーで職場体験をしました。パンを作って売るまでの作業の一つ一つに、集中力が必要だと感じました。普段できないことを体験できてうれしかったし、勉強になりました。将来、パティシエになりたいという気持ちですが、ますます強くなりました。（I. A）



○ セブンイレブン南並木店に行きました。レジで袋づめをしていて、お客さんに「上手だね。」と言われて、うれしかったです。お店の方に仕事のやりがいを質問したら、「お客様にお礼を言われるとうれしい。」とおっしゃっていたので、納得しました。（I. T）



○ セイミヤ多古店に行きました。店員さんが品出しの仕方を優しく教えてください、その通りにしたら、飲み物や調味料などをきれいに並べることができました。売れ残りが無いように工夫していることも知ることができて、勉強になりました。（K. T）



○ 多古町役場の企画空港政策課で職場体験をしました。広報『たこ』にのせる写真をさっえいしたり、原こうを書いて修正したりしました。国語で学習した文章表現やローマ字、宿題の提出に関することなどが、大人になっても役に立っていると感じました。（T. N）



多古中学校 第1学年

○ 私は、保育士について調べました。理由はお母さんが保育士だったからです。また、子どもが好きだからです。調べているうちに、保育士の事をもっと調べたいと思いました。また、発表会では友達の将来の夢も聞けて良かったです。（N. K）



○ 私は、人セミナーに参加して薬剤師になるためにはどうすればよいのかを深く考えることができました。人セミナーを通して今やるべきことを一生懸命にやるのが大切だと学びました。勉強と部活動を両立させ、将来の夢に向かって頑張りたいです。（S. M）



○ 私は、人セミナーを通して、将来の夢を真剣に考えられました。医療関係の仕事に就きたいというはっきりしない夢から、薬剤師という新たな選択肢が生まれました。社会に貢献できる仕事に就くことができるよう、これからも様々な仕事を見つけていきたいと思います。（I. H）



○ 人セミナーでは、講師の先生と自分たちの将来について話し合いました。私は特になりたい職業や夢はありませんでしたが、意見を交換することで考えを深められました。これからは仕事や職業についてしっかり考えていきたいと思いました。（S. H）



多古中学校 第2学年

○ 私は光自動車さんに行き職場体験を行いました。そこで思ったことは、覚えることがたくさんあり、修理している大人の人たちはすごいなと思いました。（A. S）



○ 私が妙光寺に行って学んだことは、挨拶の大切さです。そこでは、行事などでお客さんが来る機会がありました。来ていたお客さんに笑顔で挨拶しているととても気持ち良かったので、これからも笑顔で挨拶していきたいです。（K. Y）



○ 私は職場体験で消防署に行きました。3日間で消火訓練や救命訓練をやりました。心臓マッサージなどの救急法で教わったことを、もしもの時に使えるように、この学習を忘れずに生活していきたいです。（A. S）



○ 私は保健福祉センターへ行きました。そこではセンターのお手伝いをしたり、おじいさんやおばあさんと一緒に料理をしたり、体操をしました。また、老人ホームにも行きました。とても楽しくいい勉強になりました。（K. T）



多古高校との英語交流

<多古一小学校>

○ 高校生が英語で自己紹介をしてくれました。発音がよく、外国の方みたいで「すごいな。」と思いました。私も英語で自己紹介をしたり、話したりすることができるようになりたいです。（Y. R）

○ 高校生は、初めて見る英語で書かれている教科書や掲示物などの単語を読むことができていました。私は、読むことができないので、読めるようになりたいです。また、英語を書くこともできるようになりたいです。（K. M）

○ 多古高校のお姉さんとペアになって活動をしました。どんな食べ物が食べたいか質問した時に、お姉さんが優しく答えてくれたのでうれしかったです。（K. T）

○ 私は英語の学習を塾や学校の授業で頑張っています。高校生のお姉さんは、ALTの質問にすぐに答えることができていて「すごいな。」と思いました。私も英語ですぐに答えられるようになりたいです（G. A）

キャリア教育研究部 各班の報告

調査班より

今年度も児童生徒がお世話になった事業所を対象に、アンケートを実施しました。アンケート結果から、今後の活動に生かすために良かった点、改善すべき点などについてまとめました。

☆良かった点

- ・多くの事業所から「積極的に活動できた」「元気がいい」「素直で話をよく聞く」などの評価を得ることができました。
- ・学校と事業所との連携がうまくいき、児童生徒への指導をしっかり行うことができました。
- ・事業所の方の受け入れ態勢がしっかりしており、児童生徒が充実感を味わえる活動ができました。

★改善することができる点

- ・作業内容を児童生徒としっかり確認し、注意すべきことを事前に指導できるように気をつけたいです。
 - ・事業所からお寄せいただいたことを来年度へしっかり引き継いでいきたいです。
 - ・実施時期の情報を共有し、事業所の都合の良い時期に実施していきたいです。
- お忙しい中にもかかわらず、アンケートにご協力いただきありがとうございます。アンケートの結果をもとに、今後も継続的な事業として実施していけるように工夫していきたいと思っています。

広報班より

キャリア教育は、子どもたちが将来、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けるために、教育活動内にある、児童・生徒のキャリア発達を促すのに有効な諸要素—学習内容や指導方法、生活・学習習慣、体験的な活動—を意図的かつ相互的につなげながら、学校の教育活動全体で進められています。

日々の様々な経験を通して、変容・成長する子どもたちの、小学校から高等学校までの12年間をつなぐキャリア教育で、「働くことの意義」、「社会の担い手としての役割の理解」を伝えるためには、学校が家庭、地域社会と連携・協働していくことがますます求められています。

本誌をご覧いただくと、子どもたちが体験する前と後の変化を自ら振り返り、様々な気づきを文章化する中で、特に主観的な側面に注目しての変容—今学んでいることが生活や夢をかなえることにも役立つことを実感している姿—を読み取ることができます。この場をお借りして、職場体験、人セミナー等でお世話になった受入事業所の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

今後も、受入先との共通理解を図り、キャリア教育の成果を広報誌やウェブサイト等で地域社会へ積極的に発信していければと思います。